

資料：高等学校新学習指導要領(情報)

数研出版編集部

2022年度より、新学習指導要領が実施されます。本記事では、新学習指導要領の実施に向けて、共通教科情報科の改訂内容を確認できるように、要点を簡潔にまとめました。

発展の経緯と情報社会の進展との関わり、更に人工知能やネットワークに接続された機器等の技術と今日あるいは将来の社会との関わりについて考えさせる。

1. 共通教科情報科改訂の要点

- ・教育課程について、これまでの「社会と情報」及び「情報の科学」の2科目からの選択必修を改め、共通必修科目としての「情報Ⅰ」、発展的な選択科目としての「情報Ⅱ」を設けている。なお、標準単位数はいずれも2単位である。
- ・「情報Ⅰ」では、プログラミング、モデル化とシミュレーション、ネットワーク(関連して情報セキュリティを扱う)とデータベースの基礎、情報デザインを扱う。さらに、この科目の導入として、情報モラルを身に付けさせ、情報社会と人間との関わりについても考えさせる。
- ・「情報Ⅱ」では、情報システム、ビッグデータやより多様なコンテンツを扱うとともに、情報技術の

2. 共通教科情報科の科目編成について

現行制度と新制度の内容対照図を編集部にて作成し、図1に示した。要点は以下の通りである。

- ・プログラミングや、科学的な理解に基づく情報セキュリティに関する学習活動を充実させている。
- ・統計的な手法の活用を含めた、情報技術を用いた問題発見・解決の手法や過程に関する学習を充実させている。
- ・「情報Ⅰ」に関しては、全ての生徒が学ぶという共通性と情報技術を活用しながら問題の発見・解決に向けて探究するという学習過程を重視することを踏まえ、取り扱う内容がこれからの社会を生きる上で真に必要なものであり、生徒にとって加重とならないよう配慮されている。

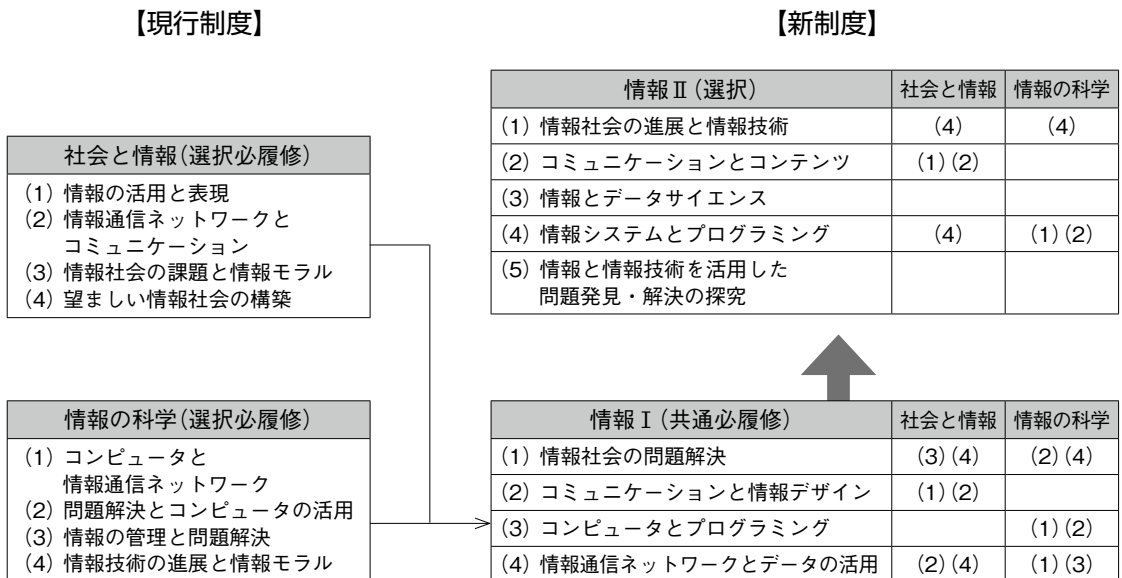


図1 現行制度と新制度の内容対照図